



# 「だがしや楽校」ってなんだ!?

6月10日  
月曜コース

## 「だがしや楽校を開こう!」の始まりはじまり~



### ◆すぎなみ大人塾月曜コーススタート!

机を円形に並べて始まったすぎなみ大人塾月曜コース「だがしや楽校を開こう!」。今回の講座は、「だがしや楽校」という耳慣れない単語に惹かれて参加した方が大半を占めた。

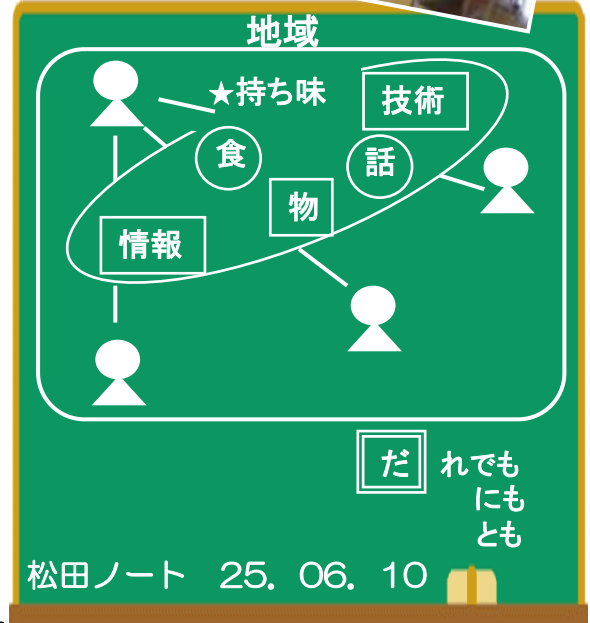
まずは、一番みなさんが疑問に思っているだろう「『だがしや楽校』ってなんだ!？」ということ学習支援者の松田さんからの説明。「駄菓子屋を研究している時に分かったのですが、《店》とは、《見せ》るから由来しています。もともと昔の商店は、物の売買のついでにおしゃべりもしていた。つまり何かを《見せ》ることが人と人がつながる原風景と言えるのですね」、「人は何かを媒介にして他人とつながっているのです。昔の地域にあったこの営みを現代で行うとどうなるのか、ということが『だがしや楽校』の講座の簡単な説明になります」と松田さん。

### ◆あなたは何を《見せ》たい?

それでは、その「何か」ってなんだろう。物を持って来るといいのだろうか。この疑問に松田さんは、「物に関わらず、情報や技術でもおすそ分けできる形ならば大丈夫です。他にも持ち味を持っている人をご紹介します、ということでもいいですね」とのこと。人は誰も、「私」を構成している年輪に、人生の中で出会った人やものや情報、身に付けた知識や技術を刻んでいる。それらを何かの形で《見せ》ることから他者や地域とつながっていくのだ。

その後の受講生各人の自己紹介では、それぞれが様々な持ち味を紹介した。韓国茶会・アンティーク・楽器づくり・ウクレレ・ダンス・ピアノ・写真・音楽・クラシック・広島風お好み焼き・野鳥・木工・風水……。他にもいくつもあったが、これらの持ち味が他者(特に講座に来ていない人!)に紹介・つながることができるには、どんな仕掛けが必要になってくるだろうか。

まだまだすぎなみ大人塾は始まったばかり。これからの新しい出会いや発見に乞うご期待!(記事:坂本)



上の図を説明している松田さん

## だがしや楽校 Here we go!



大人塾を支える個性ゆたかな?  
事務局スタッフのご紹介!

## ■ 大人塾を支える「おとな」たち②

**土** 松坂 哲夫 ♂  
通算杉並歴は半世紀? 子どもの頃は善福寺川の水門でザリガニを釣り、防空壕跡を探検していました。🔥と湯上りの麦酒を求めて全国の温泉・居酒屋探訪が楽しみです。杉並の未知なる魅力を皆さんと発見したいと思います。🐾

**月** 相山 寿子 ♀  
街歩きが好きな35歳です。自宅のある練馬区から善福寺公園や和田堀公園あたりまで主人と一緒に歩きます。いつも通り過ぎる場所も歩いてみると色々発見があって楽しいですよ! 같이 공부합시다♪ 🌞

**土** 湊 真澄 ♀  
長年従事し、大人塾が身体の一部になってきているような感じでコワイです。実は結構病弱で、病気のスーパーマーケットを名のっていますが、外見は妙に明るいです。楽しい半年にしていきましょう! つぶあんこの会メンバー募集中! 🐾

**月** 坂本 一馬 ♂  
熊本県出身、杉並歴は在勤2年目です。幼いころからサッカーをしています。最近はおっぱら観る専門です。ひいきのチームを応援しながら、土地土地のご飯や景色を楽しんで回っています。半年間よろしくお願いします! 🐾

### ◆すぎなみ大人塾“熟”してる?の発行にあたって◆

この新聞は事務局スタッフの独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。